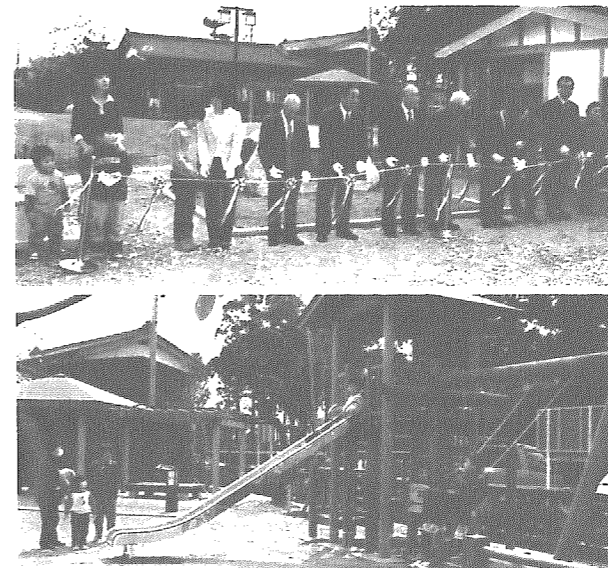


桜咲く中、横越小学校で入学式 101名の新しい仲間が初登校

4月9日、横越小学校で入学式が行われました。満開の桜のなか、新1年生は真新しいランドセルを背負い、保護者に手をひかれて登校。玄関前では、この日を記念にと次々に写真撮影をする姿が見られました。

101名の新入生は、列席者の温かい拍手に迎えられ会場の体育館に手をつなぎ笑顔で入場、橋本校長先生から「入学おめでとう。今から1年生です。先生、在校生みんなが待っていました」と歓迎のあいさつがあり、「自分のことは自分でしましょう。先生の言うことをしっかり聞きましょう。交通事故に気をつけましょう」という約束には、元気に手を挙げて応えていました。2年生からは「学校には楽しいことがたくさんあるよ、なかよくしようね」と手作りのボードを使っての歓迎を受けました。

入学式の後、担任と一緒に教室に戻り学校生活をスタート、先生の問いかけに応える元気な声が聞こえていました。



待ちに待ったふれあいとやすらぎの公園 そうみふれあいひろば オープン

3月31日、一昨年に閉園した沢海保育園跡地で、「そうみふれあいひろば」のオープンセレモニーが行われ、沢海地区住みよいまちづくり協議会の目黒委員長から「子育てするお母さんたちの出会いの場、子どもたちの遊びの場、若い男女やお年寄りの語りの場として活用して下さい」、浅見町長から「歴史ある沢海の地に立派な公園ができました。みんなでさらにこの地を育て、楽しく利用して下さい」とあいさつ。約120名の地域住民が見守る中テープカットが行われ、完成を祝いました。さっそく元気よく遊ぶ親子やその様子を楽しむお年寄りで賑わっていました。

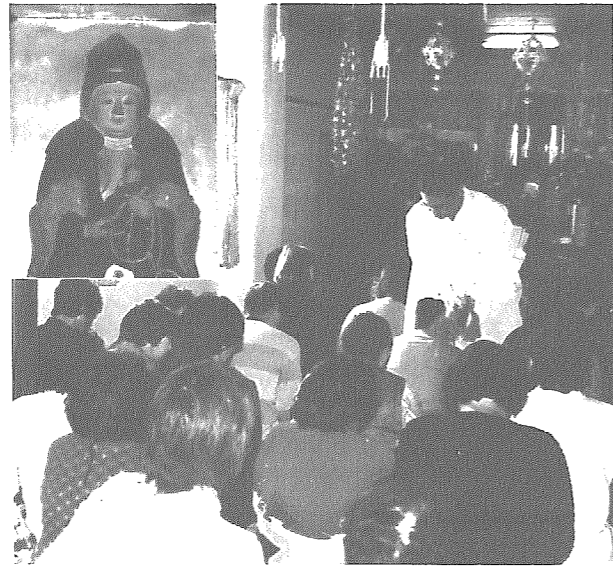
続いて、農村環境改善センターに会場を移して、(株)グリーンシグマの相楽専務取締役から「みんなで取り組むこれからの住みよいまちづくり」と題して講演があり、沢海地区はじめ県内外の事例を挙げながら、まちづくりには住民参加が必要と話がありました。

妊娠した女性や子連れの人たちが訪れ えなひめさまに安産や子どもの成長を祈る

4月15日、川根町1丁目の妙泰寺で、胞姫神御祭(えなひめさまおまつり)が行なわれました。

この祭りは、安産と子育ての神さまとして信仰されている「胞姫尊天」(えなひめさま)の命日に、安産や子どもの健やかな成長を願って、僧侶がお経を読みながら経典で訪れた人の背中などをさするなどして加持祈禱を行なうもので、妊娠した女性や子ども連れのお母さんやおばあちゃんなど、町内だけでなく近隣市町村から人々が訪れていました。

その昔、源義経が奥州落ちの途中で奥方が産気づき、胞姫尊天に祈ったところ苦痛なく子どもを生むことができたという伝説があり、その神さまを祀っている妙泉寺(柏崎市)から明治26年に分霊したものが、右写真の胞姫尊天です。妙泰寺では、この日だけでなく依頼があれば、祈禱を行なっているそうです。



政令指定都市と新潟地域大外環状道路 シンポジウムで早期実現を求める意見続出

3月27日、「新潟都市圏の将来像と道路の役割を考えるシンポジウム」が、新潟地域大外環状道路整備推進協議会の主催により新潟市で開催されました。

はじめに筑波大学の石田東生教授から「21世紀のまちづくりと新潟都市圏の展望」と題して基調講演があり、続いて、長谷川新潟市長や浅見横越町長、国土交通省の的場道路部長などがパネリストとなり、地域連携の強化、政令指定都市実現、地域における道路の果たす役割について議論を展開。政令市・大外環状道路の必要性和早期実現を求める意見が相次いで出されました。

大外環状道路は新潟東港から当町北部を通って西蒲巻町へ延びる約45kmの計画となっており、これからの当町発展に大きく関わることから、町内からの参加者はじめ会場の皆さんの関心も高く、真剣に話の行方を追っていました。

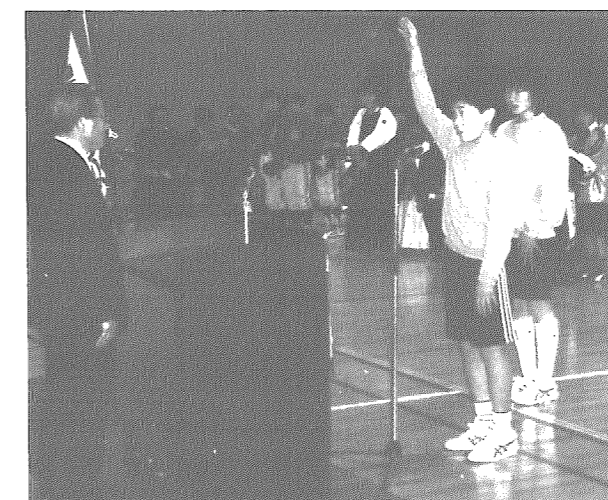
新潟都市圏の将来像と道路の役割を考えるシンポ 政令指定都市の実現と新潟大外環状道路の役割



街頭指導・高齢者宅訪問等を実施し 交通事故防止を呼びかける

「子どもと高齢者の交通事故防止、飲酒運転等悪質・危険な運転の追放、シートベルトの着用・チャイルドシートの正しい使用の徹底」を運動の重点として、4月6日から15日まで「春の全国交通安全運動」が実施されました。

交通安全指導員や交通安全協会、交通安全母の会、駐在所員、PTAなどの皆さんが参加し、交通事故による犠牲者をなくそうと町内でも運動を展開。この期間中は町内主要交差点で朝の街頭指導が行われ、子どもたちの通学中の安全を見守ったほか、9日には上町地区の80軒あまりの高齢者宅を訪問し、チラシや反射材などを配って外出時の事故防止を呼びかけたり、14日には小杉コミュニティセンターで、15日には双葉保育園でそれぞれ子どもたちに交通事故にあわないよう指導を行いました。



元気で力強い誓い スポーツ少年団に191名が入団

4月7日、平成14年度横越町スポーツ少年団(本部長 柴沢文雄)の入団式が総合体育館で行われ、今年は6単位団(野球・剣道・サッカー・バレーボール・ミニバスケットボール・ドッジボール)あわせて191名が入団しました。式は本部長あいさつ、来賓祝辞等の後、各団のキャプテンより活躍を期待させるような元気で力強い誓いの言葉がありました。

スポーツ少年団の活動は、小学生がスポーツに親しむことと健全育成を目的に行なわれており、これから体育館やグラウンドでは、一生懸命に体を動かし汗を流す子どもたちの姿が見られることでしょう。

なお、スポーツ少年団に入団したい小学生がいた場合は、年度途中でも受け付けていますので、お気軽にスポーツ少年団本部(総合体育館 ☎385-4477)へご連絡下さい。